

はくぶつかんネット

第25号

~ GINOWAN MUSEUM ~



← 懐かしのパッチー
左は親めんこ
右は人型めんこ
(諸見民芸館所蔵)

2006年

1~3月

3ヶ月に 1回発行

(次号は、4月15日)

★ 平成17年度 第2回 企画展 ★

◆ パッチー (紙面子) の世界 ◆

— 明治～昭和時代まで、
少年達が夢中になった娯楽 —

◆ 開催期間 : 2006年 2月12日(日) ~
3月12日(日) ◆

※毎週火曜日は休館となります

- ◆ 入館時間 : 午前9時 ~ 午後4時30分 ◆
◆ 開催場所 : 宜野湾市立博物館 企画展示室 ◆
◆ 協賛 : 諸見民芸館 ◆



博物館 イメージキャラクター

察度くんと天女ちゃん

※入場無料

新年、明けましておめでとうございます。

正月休みも終わり、少しずつ日常の生活に戻りつつある今日この頃だと思います。

さて、日本では子どもたちの正月の楽しみの一つに、お年玉をもらうことがあると思います。お年玉の用途は様々だと思いますが、昔の子どもたちは主に駄菓子屋でお菓子や、パッチー(めんこ)、おはじきといったおもちゃを買ったり、学校用品のたしにしたりしていたようです。

今回、沖縄市の諸見民芸館館長の伊礼吉信氏に協力してもらい、伊礼氏が長い年月をかけて収集した数多くのパッチー(めんこ)コレクションを一堂に展示します。パッチーの絵柄には、戦争などその時代を反映したものや、映画やテレビスター、アニメキャラクター、スポーツ選手などその時代に流行したものが取り上げられており、明治から昭和時代までの歴史の一端を知ることができます。

パッチーで遊んだことのある世代には、きっと懐かしい展示会になると思います。またパッチーを知らない世代でも、絵柄や変わった形のパッチーなどが珍しく、きっと楽しめる展示会になると思います。変わったパッチーなども含め、県内でこれほど多くのパッチーが勢揃いする機会は、これまでにほとんどなかったと思います。ぜひこの機会を、お見逃しのないように！！

~~~~~ ★解説会などのイベントも予定しています。 詳細はお問い合わせください。 ~~~~

常設展示室のご案内

## ◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：2005年12月24日（土）～2006年3月19日（日）

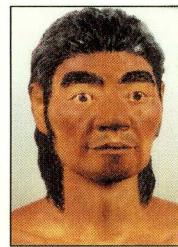
常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えをしました。

今回は野嵩2区の方々です。大正から昭和生まれの先輩方と、小学生の顔写真を計14名分展示しています。この展示は、2006年3月19日（日）までの予定です。

『宜野湾人の顔』は、現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示があるエントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。次回は、中原区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となりますので、あらかじめご了承ください。



▲ 安座間原人

◎ 平成17年度 講演会の報告 ◎

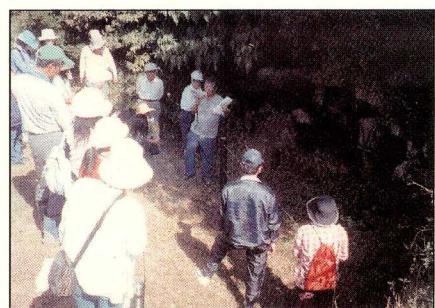
## 「宜野湾市の洞窟めぐり No.5」の報告

2005年11月5日（土）に、毎年恒例の「宜野湾市の洞窟めぐりNo.5」を開催しました。23名の参加者は、講師の新垣義夫先生（普天満宮宮司・宜野湾市立博物館協議会会長）の興味深い話に真剣に耳を傾けていました。

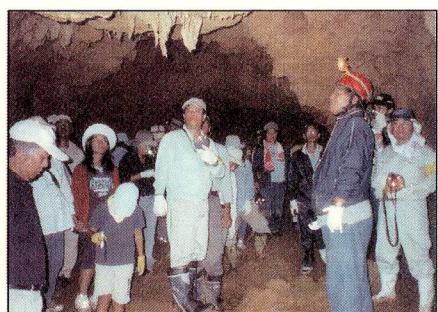
今回見学した洞窟は、マヤーガマ（大山）→チヂフチャーガマ（浦添市）→クマイーアブ（字宜野湾）→普天満宮洞穴（普天間）の計4ヶ所でしたが、参加者は身近にこんな洞窟があることに驚いたと同時に感激していました。

参加者からは「人間とガマは今までの関係が深く、歴史、生活上、そして命を守ったから無視できない大きな存在を感じ取れました」、「洞穴の中で明かりを消した時、1人では我慢できないなと思いました。昔の人は過酷な状況にあったんだと身を持って知りました」、「多くの人に見てもらって身近な環境に愛着をもってほしいと思う」などの感想が聞かれ、洞窟を通して自然や文化、歴史について肌で実感することができたようです。

★「宜野湾市の洞窟めぐり」は、今年も昨年とほぼ同じ内容で開催する予定ですよ～



▲ 大山マヤーガマでの1コマ



▲ クマイーアブの中の様子

## ★★★新年のご挨拶★★★



▲ 諸見民芸館  
所蔵パッチー

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様には清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は当市立博物館の企画事業であります「じの～んの綱引展」をはじめ、「市内小・中学生文化財図画作品展」、「宜野湾市の歴史の道をたどる」講演会、「新収蔵品展」、慰靈の日特別展「宜野湾市民の沖縄戦」、子ども博物館の「わらば一体験じゅく」など各種の企画事業におきまして、皆様方のご支援、ご協力を賜り誠に有難うございました。

また、本市をはじめ市外の方々から数多くの貴重な資料を寄贈していただきましたことに深く感謝申し上げます。

年頭に当たりまして皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も宜野湾市立博物館に対しまして格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつと致します。(館長 宮城)

## ★語り継がれる年中行事★

沖縄県には様々な年中行事があり、神々や祖先とのつながりを大切にする風習がありますが、残念ながら現在ではその風習が薄れつつある傾向に思われます。

そんな年中行事を再確認・再認識してもらいたいと思い、今回は旧1月に行われる行事の中から、十六日祭(ジュウルクニチ)という行事に触れてみたいと思います。

### ○1月16日(ジュウルクニチ) 十六日祭

この日は、この一年間に亡くなった人の靈を慰める日で、「後生の正月」と言われ墓参りをしました。かつては、どの家庭でも墓参りをしていましたが、大正・昭和に通じての生活改善運動で改正された結果、ミーサ(新仏)の家だけの行事になりました。

ミーサのある家では、ミイグソウ(新後生)、ミイジュウルクニチ(新十六日)と言って、重箱に餅や料理を詰めてお墓へ行きます。午前中は家族がお墓に行って焼香を済ませ、午後は親戚や隣近所の人たちが家に集まり、焼香をします。この日は集落のあちこちの家で焼香があるので、かけ持ちで回るのに大変忙しい日です。墓前と自宅の仏壇の前には、正月飾りのアカカバーで作ったコードウール(廻り灯籠)を飾りました。しかし、これも廃止の対象となり、現在では見ることができません。

《今日のごちそう》



▲ 重箱：豆腐・てんぷら・  
三枚肉・ごぼう・昆布・餅

以上のような行事の他にも、様々な行事が市内で行われていますが、今では行われていない行事もまだまだあるのでは?と思います。そのような行事も後世まで伝えていきたいと思いますので、「あの時はこんな行事があつて、こんなだったさあ。」等のお話や、冠婚葬祭についてのお話をもちの方、ぜひ一度、当館までご連絡ください。(大城)

## ★歴史の証言者！？★

〈一見、ガラクタに見えますが…〉



▲ 常設展示室内的民家

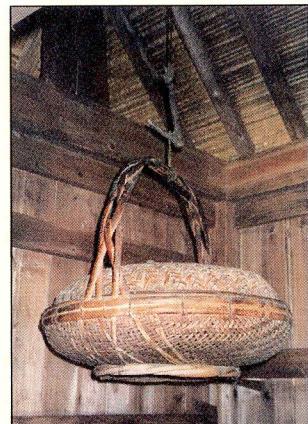
博物館には現在ではあまり見られなくなったモノ、一昔前に入々が使用していた様々な種類の道具等が、当時の暮らしを知る為の貴重な資料として収集し、保管・展示されていますので、皆で大切にしていきたいものです。

先日、当館常設展示室へ見学に来ていたある生徒が、笑いながらクバガサを逆さにし、駒回しのように回している姿を目りました。きっと、これまでに一度も博物館等を訪れることがなかったのでしょう。改めて、最近の人達の博物館離れを実感することとなりました。

博物館に展示されているモノは、はた目に見ればただのガラクタに過ぎないかもしれません、遙か昔、暮らしは便利ではありませんでしたが、そこにあるモノを上手に工夫し生活していた先人の知恵を立証する、大切な資料なのです。今では見られないモノ・見たことがないモノが目の前にあれば、やはり“触れてみたい”という欲求が出てきてしまい、思わず触れてしまう衝動に駆られても仕方のことだと思います。

博物館には様々な役割があります。その中には、先人の知恵を資料(民具)という形として後世へ語り継ぐため、様々な資料を収集し、その資料を大切に保存しながら公開する役割があります。しかし、先程のような事が度々起り、もしも資料が破損してしまうとどうなるでしょう？今ではめったに見られない資料だけに、その資料の代わりになるモノが探せない・現在ではもう残っていないため、弁償が出来ない=その資料は消失してしまい、今後、実物を見たくても2度と見ることが出来なくなってしまいます。さらには、そんなことが起こらないよう、監視員が常駐した堅苦しい雰囲気の中で観覧することになったり、展示する事自体、控えるようになってしまします。それは博物館としての存在価値を薄れさせるので避けたいことです。何より、これからの中も達が今の暮らしを見つめるための比較とするモノがなくなり、様々な歴史や先人の知恵を忘れ去り、“今の暮らしはあるのは当たり前”といった間違った認識を持つことになるのでは…？

それを避けるため、当館ではこれから徐々に歴史や文化を見て触って体感できるような展示内容にしていけるよう、取り組んでまいりますので、それまでの間、展示物の扱いには十分に気を付けていただきますよう、ご理解とご協力お願い申し上げます。



▲ サギジョーキー



入館料免除・資料館外貸出の申請について

## ○ 申請する場合は、手続が必要です。

博物館では入館料の免除申請と、資料の貸出申請を行うことができます。

申請書に必要事項を記入のうえ、入館・貸出を希望する日の 1週間前（休日や祝祭日を除いた1週間前にご協力お願いします）までに、直接博物館に提出してください。

※申請書は内容等、又は当館の業務に支障がないか検討の上、許可の可・不可の通知を致しますので、よろしくお願ひ致します。

### ■入館料の免除申請に該当する団体

- ①教育課程に基づく学習活動として入館する学生、生徒、児童及びこれらの引率者。
- ②宜野湾市教育委員会、博物館が開催する博物館資料に関する講演会、講習会、研修会等に参加して入館する者。
- ③その他館長が免除することが適当であると認めた者。



### ■主な貸出資料

- 収蔵品
- ビデオ
- 写真

## ～あなたの家に、眠っていませんか？～

博物館では、宜野湾市を中心としたさまざまな生活用品や、当時の暮らしが分かる道具・写真・映像などの収集に力を入れています。

特に昭和の資料については、広く募集しております。

隨時、資料の収集を行っておりますので、「こんなのがあるけど、どうかな？」と思っている方は、博物館までご連絡ください。職員がお伺い致します。

## ～市立博物館にて、証明書の交付を行っています～

住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明のみ、市立博物館内に設置された交付の窓口にて申請を行えば発行されるという仕組みです。

### ★注意事項

- 1) 火・土・日、祝祭日、慰霊の日、年末年始は休みです。  
※火曜日が祝祭日に当たった場合の翌水曜日や、くん蒸などの臨時休館日も、休みになります。
- 2) 午前9時～午後4時30分まで受付します。
- 3) 上記のとおり、住民票（謄本・抄本・除票）と印鑑証明以外は交付できません。

# 平成17年度の事業あんない

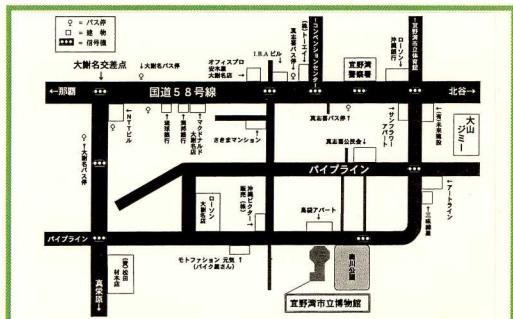
**2006年1月～2006年3月**

| 月 | 日  | 曜日 | 内 容                                                                                               | 期 間                                                    |
|---|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1 | 21 | 土  | わらばー体験じゅく「第8回：豆腐づくり」<br>○対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名 / 残りは8回と9回                                       | ※メンバー募集中！<br>定員に達し次第、受付<br>終了。保険料徴収                    |
| 2 | 12 | 日  | 企画展「パッチー(紙面子)の世界」<br>－ 明治～昭和時代まで、少年達が夢中になった娯楽 －<br>○協賛：諸見民芸館<br>○諸見民芸館館長の伊礼氏による解説会など、イベントも予定しています | 3月12日(日)まで<br>時間は9時～16時30分<br>毎週火曜日は休館<br><b>※入場無料</b> |
| 2 | 18 | 土  | わらばー体験じゅく「第9回：沖縄そば作り」                                                                             |                                                        |

**※ 日時や内容は未定のものもありますので、変更に関してはご了承ください。**

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、  
はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

## ◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316



### ◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の  
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

### ◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰靈の日（6月23日）、  
年末年始（1月29日～1月3日）

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

※ 火曜日が祝祭日にあたる場合は翌水曜  
日は、休館日となります。

### ◎ 常設展示室 観覧料

|     | 大 人  | 高 校・大 学 生 | 小・中 学 生 |
|-----|------|-----------|---------|
| 個 人 | 200円 | 100円      | 50円     |
| 団 体 | 150円 | 50円       | 30円     |

※ 団体は20名以上からとなります。

※ 高校・大学生は、学生証の提示をお願いします。

※ 障害者の方は、障害者手帳を提示すると無料に  
なります。

▽現在、博物館では2つのホームページを開設しております。

ホーマーページ① : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

ホーマーページ② : <http://www.ginowan-okn.ed.jp/con7/index.html>